

看護の日で健康アドバイス

毎年5月12日は「看護の日」で、城西病院看護部は看護の日にちなんだイベントを毎年行っています。

今年は5月13日に行い、イベントは、血圧測定や体重・身長測定、体脂肪測定のほか、ふだん疑問に感じている健康や介護、栄養に関する相談を行いました。

ドイトンコーヒーにコーナーを設け、病院を訪れた患者さんの家族や面会者、職員などを対象に実施。体重や体脂肪率などの結果をもとに健康相談を行ったり、栄養や家族で看護を必要としている人たちにアドバイスなどを行いました。この日は78人がコーナーを訪れました。

平成27年5月14日



看護の日は、近代看護教育の母、フローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなんで、国際看護師協会が1965年に5月12日を「国際看護師の日」に制定。日本では厚生労働省が1990年に「看護の日」に制定しました。

ナイチンゲール誓詞

われはここに集いたる人々の前に厳かに神に誓わん——
わが生涯を清く過ごし、わが任務（つとめ）を忠実に尽くさんことを
われはすべて毒あるもの、害あるものを絶ち、
悪しき薬を用いることなく、また知りつつこれをすすめざるべし
われはわが力の限りわが任務の標準（しるし）を高くせんことを努むべし
わが任務にあたりて、取り扱える人々の私事のすべて、
わが知り得たる一家の内事のすべて、われは人に漏らさざるべし
われは心より医師を助け、わが手に託される人々の幸のために身を捧げん

ナイチンゲール聖詞は、看護学校などで、臨床実習の前の戴帽式で唱和し、看護師になる決意を改めて厳かな式の中で確認しています。

ナイチンゲールの偉業をたたえ、その教えのもとに、1893年にアメリカ・デトロイトの看護学校が、「ヒポクラテスの誓い」にならい、作成したものです。